



## 日本農業遺産のまち 島根県奥出雲町

～ たたら製鉄から持続可能な農業へ～



### たたら製鉄に由来する 資源循環型農業

奥出雲町の農業は、千年以上の長きにわたり続けられた、たたら製鉄の営みとともに生み出されてきました。将来にわたり受け継がれるべき重要かつ伝統的な農業システムとして、2019年、「日本農業遺産」に認定されています。

たたら製鉄由来の資源循環型農業  
日本農業遺産・奥出雲町

《農業遺産ロゴマーク》



仁多米



奥出雲和牛



しいたけ



出雲そば



中国山地の山あいにある奥出雲町は、砂鉄と木炭を原料とする伝統的製鉄技術「たたら製鉄」と農業を結びつけ、地域の産業経済を支えてきました。江戸時代を中心に日本最大の製鉄地帯の一つとして栄え、今もなお、奥出雲の地で日本刀の原材料である「玉鋼」を生産するため、たたら製鉄が操業されています。

奥出雲の先人は、たたら製鉄の営みを通じて、「土」、「森」、「牛」を活かし、将来にわたって人々に恵みをもたらす持続可能な農業を生み出してきました。

## たたら製鉄の伝統的知識と農業の展開

### 土 砂鉄採取 ⇒ 農地開発

鉄の原料である砂鉄を採取するため、「鉄穴流し」によって山を切り崩し、跡地は棚田に造成されました。ソバなどを栽培して土壌改良し、水路やため池を再利用して豊かな大地に変えました。

### 森 木炭生産 ⇒ 森林循環

たたら製鉄の燃料となる木炭を永続的に生産するため、20~30年周期で輪伐してきた循環利用の知識を、現在は椎茸の原木利用に受け継ぎ、水源涵養機能も維持しています。

### 牛 役牛 ⇒ 地力の向上

たたら製鉄の製品や原料を運搬した牛馬は農耕にも利用されました。牛ふん堆肥や山草を水田に投入して土づくりを行い、地力を上げて農業生産力を高めてきました。

## 奥出雲が有する農業の価値

### 景観・土地利用

神を祀る祠や墓地といった信仰の対象を削らずに残した小山「鉄穴残丘」が点在し、独特な棚田景観が形成されています。

### 農文化の継承

製鉄や農業に関わる風習や伝統行事、食文化や伝統芸能が今も大切に受け継がれています。

### 生物多様性の保全

人が自然に手を入れ続けてきたことで希少な動植物、多様な生物の生息地が保全されています。